



Optimal Biz
Android (AMAPI) クライアント
リファレンスマニュアル

最終更新日 2024 年 10 月 20 日
(Web サイト ver.9.22.0)
株式会社オプティム

はじめに

本マニュアルでは、Optimal Biz（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解の上、マニュアルをお読みください。

名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。

記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「 」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

不明な用語は、以下を参照してください。

 [『よくあるご質問 \(FAQ\)』](#)

免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が [管理者] のユーザーを対象としています。[管理者] 以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

登録商標

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

1 Android (AMAPI) クライアントについて	5
1.1 概要	6
1.2 OS サポートポリシー	6
1.3 動作環境	6
2 専用デバイスの基本操作	7
2.1 端末から管理サイトと同期する	8
2.2 端末を初期化する	10
2.2.1 機器情報を削除して初期化する	10
2.2.2 リモートワイプで初期化する	10
2.2.3 端末のリセット機能で初期化する	10
3 管理サイトからの指示による動作	11
3.1 セキュリティポリシーが変更された場合	12
3.2 ロック画面が表示された場合	15
4 こんなときは	16
4.1 同期できないときは	17

1 Android (AMAPI) クライアントについて

この章では、製品の概要や動作環境などを説明します。

1.1 概要

本製品は、専門の知識を必要とせずに、機器の管理・運用を行うサポートサービスです。Android 端末を認証すると、端末の状態を確認したり、管理サイトから端末のリモートロックやリモートワイプ（初期化）したりできます。

 本書はキッティングされた Android 端末を前提に、操作方法を説明しています。キッティングが完了していない場合は、事前にキッティングを行ってください。詳細については、以下を参照してください。

 『Android (AMAPI) キッティングマニュアル』

 管理サイトの操作については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』

1.2 OS サポートポリシー

本製品では、確実な製品の動作とセキュリティ機能の提供を目的として、以下の OS サポートポリシーを定めています。

- 本製品の最新対応 OS より 3 世代前の OS メジャーバージョンまでをサポート。
- 最新対応 OS 追加に伴い、サポート対象外となった OS バージョンについては、サポート期限が切れた日から 1 年間に限り、お問い合わせには可能な限り対応いたします。ただし、動作保証や不具合対応はいたしません。
-  定期的に下位の OS バージョンのサポートを終了します。サポート対象外となる OS や端末を利用している場合は、OS アップデートまたは機種の変更をしてください。対応機種については、以下を参照してください。

 『Android(AMAPI)対応端末表』

サポート対象	<ul style="list-style-type: none"> ● Android 15：最新対応 OS ● Android 14：1 世代前 ● Android 13：2 世代前 ● Android 12：3 世代前  Android 11 のサポートは終了しました。お問い合わせには 2025 年 10 月 19 日まで可能な限り対応します。
--------	--

1.3 動作環境

対象 OS	Android 12 以上  詳細については、以下を参照してください。  『Android(AMAPI)対応端末表』
ネットワーク接続	3G、4G/LTE、5G または Wi-Fi でインターネットへアクセスができること。

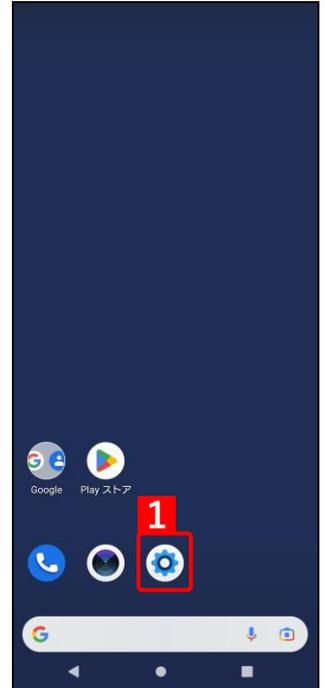
2 専用デバイスの基本操作

この章では、端末からの同期方法など、専用デバイスの基本操作について説明します。

2.1 端末から管理サイトと同期する

📝 同期の手順は、端末ごとに異なります。詳細については、使用している端末の取扱説明書やヘルプを確認してください。

【1】 「設定」をタップします。



【2】 [Google] をタップします。

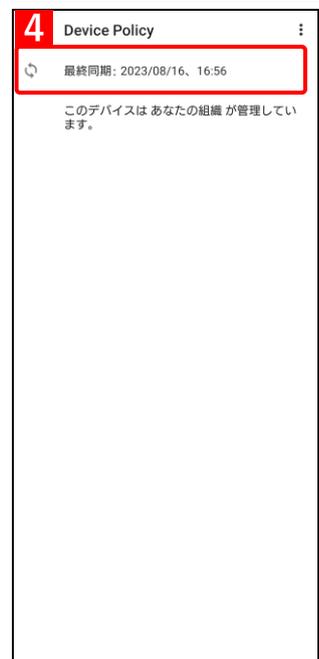


【3】 [Device Policy] をタップします。



【4】 「最終同期」 をタップします。

⇒ 同期が完了しました。



2.2 端末を初期化する

端末の初期化を行い、工場出荷状態（初期設定画面）にします。

端末を初期化するには、以下の3つの方法があります。

- 機器情報を削除して初期化する
 - リモートワイプで初期化する
 - 端末のリセット機能で初期化する
-  管理サイトから Android Enterprise (AMAPI) アカウントを削除した場合は、AMAPI 認証されているすべての端末が自動的に初期化されます。
-  再度キッティングする場合は、以下を参照してください。
-  『Android (AMAPI) キッティングマニュアル』

2.2.1 機器情報を削除して初期化する

管理サイトから機器情報を削除すると、自動的に端末が初期化されます。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の個別削除」

2.2.2 リモートワイプで初期化する

管理サイトから端末のリモートワイプを行います。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の操作」－「(操作-Android (専用デバイス)) リモートワイプ」

 リモートワイプを実行すると、すぐに端末が初期化されます。実行時には細心の注意を払ってください。

 別途、管理サイトから機器情報を削除してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の個別削除」

2.2.3 端末のリセット機能で初期化する

管理サイトと接続できない場合などは、端末のリセット機能で初期化します。

 端末のリセット機能は、端末ごとに異なります。詳細については、使用している端末の取扱説明書やヘルプを確認してください。

 別途、管理サイトから機器情報を削除してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の個別削除」

3 管理サイトからの指示による動作

この章では、管理サイトからの指示による Android 端末の動作について説明します。

3.1 セキュリティポリシーが変更された場合

管理サイトの「スクリーンロック」でセキュリティポリシーが変更されると、一時的にアプリの使用が制限されます。以下の手順でセキュリティポリシーを満たすパスワードを設定してください。

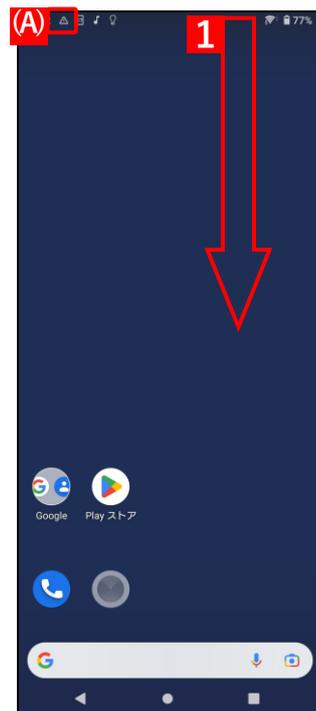
✍️ キオスクアプリを配信している場合は、手順【3】の画面が自動的に表示されます。設定が完了するまで他のアプリを表示させることはできません。

✍️ スクリーンロックについては、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android (専用デバイス)」 - 「Android (専用デバイス)」 - 「スクリーンロック」

【1】画面を上から下へスライドします。

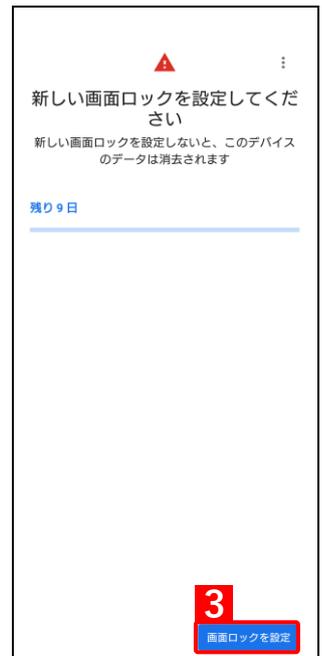
✍️ 管理サイトでセキュリティポリシーが変更されると、(A) アイコンが表示されます。



【2】Device Policy の通知をタップします。



【3】 [画面ロックを設定] をタップします。



【4】 画面ロックの方法を選択します。

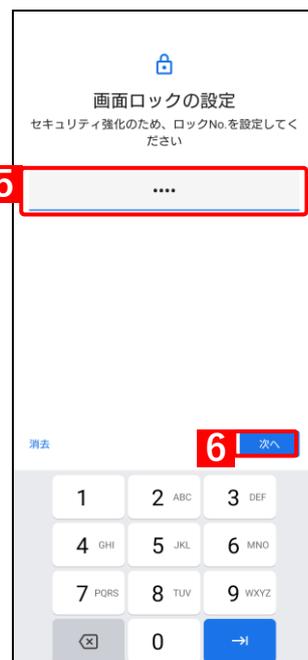
 非活性の方法は、選択できません。

 手順【5】以降は、[ロック No.] を選択した画面です。



【5】 セキュリティポリシーを満たす「ロック No.」を入力します。

【6】 [次へ] をタップします。



【7】 入力した「ロック No.」を再度入力します。

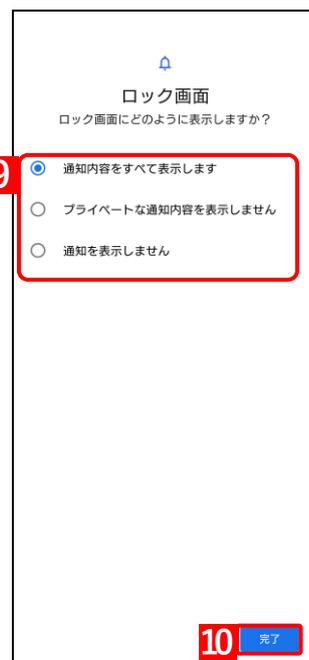
【8】 [確定] をタップします。



【9】 通知の表示方法を選択します。

【10】 [完了] をタップします。

⇒ ポリシーとの同期が完了すると、制限が解除されます。



3.2 ロック画面が表示された場合

管理サイトからリモートロックが行われた場合、端末がロックされます。端末に設定されているロック解除方法で、ロックを解除してください。

 生体認証でロックを解除することはできません。

 リモートロックの詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の操作」－「(操作-Android (専用デバイス)) リモートロック」

4 こんなときは

この章では、管理サイトと同期できないときの端末の状態や設定の確認方法について説明します。

4.1 同期できないときは

端末が以下の状態、または設定になっているか確認してください。

 OS バージョンや端末により、表示項目名や手順が異なる場合があります。

- 端末の電源がオンになっている
- 有効な SIM によるモバイル通信もしくは有効な Wi-Fi アクセスポイントに接続されている
- 圏外および電波が届かない状態で利用していない
- 省電力モード（エコモード）が OFF になっている
確認方法：端末の [設定] → [電池] → [エコモード]
回避方法：省電力モード（エコモード）を OFF にする
- データセーバーが OFF になっている
確認方法：端末の [設定] → [ネットワークとインターネット] → [データ使用量]
回避方法：[データセーバー] を OFF にする
- 電池の消費を抑えるアプリがない
確認方法：端末のホーム画面→アプリ一覧
回避方法：電池を制限するアプリを使用しない、アプリ内の設定で MDM を制限しないよう設定する
- 機内モードが OFF になっている
確認方法：端末の [設定] → [ネットワークとインターネット] → [機内モード]
回避方法：[機内モード] を OFF にする
- 帯域制限を使用している場合、通信要件を満たしている
確認方法：ネットワーク管理者にお問い合わせください
回避方法：制限しているサービスの設定で、MDM の通信要件を満たすようポートを許可する